

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP*NEWS

第61回 建学祭「異彩」開催

来場者 初日2,312人 2日目3,727人 合計6,039人



みんなで作り上げた 建学祭

建学祭実行委員長 3年3組 深見 玲

今年度の建学祭はいかがだったでしょうか。今年は昨年よりさらにグレードアップし、各団体がテーマに沿った個性あふれる展示を行っていました。準備期間を含め、大きなトラブルもなく無事に4日間を終えることができたのは、全校生徒の皆さんをはじめ、担任の先生方、各団体の顧問の先生方、そして建学祭実行委員全員の協力のおかげです。この場を借りて心よりお礼申し上げます。今年の経験を糧に、来年度の建学祭がさらに素晴らしいものとなるよう、1・2年生の皆さんにはぜひ頑張ってください。本当にありがとうございます。



表現することの楽しさ

ポスター・パンフレット表紙デザイン 1年5組 石橋 伶奈

建学祭を終えて、自分の作品を完成させて展示できたことに大きな達成感を感じました。表紙の絵は、今回のテーマ「異彩」とスローガン「際立ち」をもとに、電球とレモンをモチーフに制作しました。自然の中に一つだけある電球の光や、黒に近い背景に映えるレモンの鮮やかな色を通して、異彩を放つ存在を表現しました。制作の過程では、光の表現や色の重なり方に悩みながらも、最後まで自分の思いを大切に描き進めました。レモンの「熱意」や電球の「ひらめき」といった意味を意識することで、作品全体に明るさとエネルギーを込めることができたと思います。建学祭を通して、自分の中の表現の幅を広げることができ、ものづくりの楽しさを改めて感じる良い機会になりました。

異彩を通して感じた感謝

宣伝・設営部門長 3年2組 高山 悠和

今年度は「異彩」というテーマに沿って門づくりを行いました。制作過程では意見がまとまらないなどの苦労もありましたが、部門の生徒や先生方、そして多くの方々のご協力により、無事に完成させることができました。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。私たちの作り上げた門が、今年度の建学祭を少しでも彩ることができたなら幸いです。



第61回 建学祭開催!

テーマ

異彩

スローガン

際立ち

2025年度 第20回 知財グランプリ審査結果

「知財グランプリ」とは、クラス出展団体（展示部門のみ）のうち最も創造性と主体性を発揮した団体を表彰するというものです。企画内容や取り組み（接客態度）、教室の装飾などを保護者・生徒・教員の代表者が総合的に審査します。グランプリには賞状とトロフィーが、準グランプリと最優秀ポスター（模擬店部門での出展も含む）の作者には賞状が授与されます。



★グランプリ

2年1組「高輪 一芳園」

日本の伝統工芸である金継ぎを体験することができる、という今までにない企画内容はもちろんのこと、クラス全員が講師の方から簡易金継ぎの歴史や方法について教わったということで、接客のレベルも卓越していたように感じられました。待ち時間のあいだに響く“天空日本庭園”に設けられた鹿おどしの素朴な音や、東京三大結婚式場の一つを連想される出展名も印象的でした。

★準グランプリ

1年2組「ひと糸・人想い」

「ものづくり」系の出展が多い中で、ミサンガや“しおり”を作成するという企画自体はそこまで珍しいものではなかったのですが、クラス全員のお薦め図書を展示したり、スタッフ全員が書店員風の衣装（制服にお揃いのエプロン）を着用したりするなど、コンセプトがはっきりしていた点が高く評価されました。



★準グランプリ

3年10組「走れ! 建学祭ミニ四駆GP」

昭和晩年生まれ（男子限定?）には懐かしい「ミニ四駆」（四輪駆動の自動車模型）を組み立てて走らせるというアイデアが秀逸でした。製造・販売元である株式会社タミヤに協力してもらって数多くのパーツを取り揃えているので、自分好みの一台を完成させることができるということで、世代ではない来場者にも好評でした。



★最優秀ポスター

3年9組 新井 さとみ

新井さんは昨年度に引き続いての受賞です。ポスターとしていちばん大事な視認性（見やすさ）の高さが審査員からの注目を集めていました。ちなみに、よく見ないとわからないかもしれませんが、雲や肉まんも白系の絵の具で描かれています。

〈建学祭企画〉スピーチコンテスト・ディベート大会

本校では、2001年度より建学祭において日ごろの学習成果を披露するスピーチコンテスト・ディベート大会を開催しています。代表者がステージ上で堂々とした発表をすることができました。

第25回 英語スピーチコンテスト(高1)

優勝	5組 鶴巻 理菜
準優勝	10組 ハムダ アル オタイバ
3位	5組 山田慈英久

5組 鶴巻 理菜

私は初めての建学祭でスピーチをしたので、少し緊張しました。本番までの練習では、先生から感情があまり伝わってこないのではという指摘をもらったので、ただスピーチらしく話すのではなく、自分が相手だったらどんな話し方なら興味を持って聞くことができるかを考えながら練習しました。本番では、聞いている人に伝えたいことをしっかり届けようという意識を持ってスピーチすることができたと思います。



左から ハムダさん、鶴巻さん、山田君

第24回 日本語ディベート大会(高2)

【論題】

日本の高校における古典の授業を廃止すべきである、是か非か

肯定側		否定側	
10組 ユーセフ アルシェッ	立論	3組 立岡 聖尋	
4組 佐藤 陽斗	質疑	5組 長澤立夏子	
6組 宇田 陽翔	質疑	9組 田中 果南	
8組 細川 丈介	第一反駁	1組 竹田 大成	
2組 稲山 里香	第二反駁	7組 古山 蒼士	

優勝：否定側

7組 古山 蒼士

私は今回のディベートで、楽しむことを意識しました。昨年は、英語スピーチコンテストに参加させていただき、その際には500人を超える観客の皆さんの前で1人で話す緊張があり、優勝することができず、悔しい思いが残りました。今回は、そのリベンジのつもりで挑みました。前回は1人でスピーチを行いました、今回はチーム戦だったため、まずは、チーム作りから始まりました。私のチームは、誰も知り合いがいないところから始まりましたが、準備期間の1カ月は本当にあっという間で、チームの仲間と優勝できたことは深い思い出になりました。ディベートでは、観客を引き付けるような言い回しを、ディベートの動画や話し方の動画を見て研究しました。本番は緊張しましたが、それに負けないぐらいの楽しさもあり、大勢の人の前で話す貴重な機会に感謝しています。

後列(肯定側)左から ユーセフ君、佐藤君、宇田君、細川君、稲山さん
前列(否定側)左から 古山君、長澤さん、田中君、立岡君、竹田君

第23回 英語ディベート大会(高3)

【TOPIC】

Using paper and textbooks to study is better than using digital devices

肯定側 The Affirmative side		否定側 The Negative side	
6組 鈴木 励	立論①	10組 犬塚 湘平	
4組 谷山 紗夏	立論②	1組 蒲谷 斗真	
8組 山内 和	反駁①	3組 田中瑛一朗	
5組 友井 映奈	反駁②	7組 佐藤 涼	
9組 大高 裕美	最終弁論	2組 佐々木湧祐	

優勝：肯定側

5組 友井 映奈

今回の英語ディベートは、私にとって非常に貴重な学びの機会となりました。初めは「これまでの日本語ディベートを英語に直すだけで良い」と安易に考えていましたが、実際に準備を進める中で、英語特有の表現や論理構成の難しさに直面しました。また、他クラス代表者の完成度の高い資料に刺激を受け、自分の原稿を何度も推敲、信頼性の高い情報源を調べ直すことで、説得力ある主張を組み立てる大切さを実感しました。

後列(否定側)左から 犬塚君、蒲谷君、田中君、佐藤さん、佐々木君と審査員の先生方
前列左から 司会の高内さん、(肯定側)大高さん、友井さん、山内さん、谷山さん、鈴木君

2025年度学校運営方針

今回は、今年度の実践目標の中から、「基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、自立心を育てる環境を整える」についてご紹介いたします。基本的な生活習慣は社会生活の基本です。学生の間にきちんと身につける必要があります。

実践目標

基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、 自立心を育てる環境を整える

子どもたちが健やかに成長し、自立した社会人として豊かな人生を送るためには、基本的な生活習慣の定着が欠かせません。「基本的な生活習慣」とは、食事・睡眠・排泄・清潔・衣服の着脱などを指します。これらの項目の基本的なことは、小学生までに身につけるべきものですが、中高生になると通学、学習、部活動、余暇（スマホ、ゲームほか気分転換の時間）など生活の幅が広がり、これまでの習慣を基に自分で生活を管理する力が求められます。

生活習慣を整える過程で、子どもたちは自分に自信を持ち、自己肯定感を育みます。これは自立への第一歩です。しかし、最近では、夜型の生活になりがちで、睡眠時間が足りなかったり、朝食をとらないなど、生活リズムが乱れてしまうケースも見られます。こうした状態が続くと、疲れが取れず集中力が落ちたり、体調を崩して学校を休みがちになったり、ちょっとした出来事にも気持ちが不安定になることがあります。

もし、お客様の生活リズムに気になる点がありましたら、ぜひ一度、ゆっくりお話ししてみてください。その際には、「こうしなさい」と答えを与えるのではなく、お客様自身がどうすればよいかを考え、試行錯誤しながら生活を整えていけるよう、そっと背中を押していただければと思います。そうした経験が、将来の「自立」につながっていきます。

学校では、挨拶や身だしなみ、ルールの守り方などを通して、集団生活の中で基本的な生活習慣を身につけられるよう、日々子どもたちと向き合っています。ご家庭でも、食事や睡眠などに気を配っていただきながら、生活習慣づくりにご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

9月から着任された先生のご紹介



田口 結子 先生【英語科】

9月より中部部の英会話やチームティーチングを担当しております、田口結子と申します。中学校で英語を勉強し始め、さまざまな国の人と話したり、文化を知ったりすることが面白いと思って英語に興味を持ったので、生徒の皆さんにとって授業がそのような時間になるよう頑張りたいと思っています。幼少期に水泳を習っていたので、今でも趣味で泳いでいます。どうぞよろしくお願いいたします。

SSH活動報告

9月13日と20日に本校で行われた英語でのプレゼンテーション講座「ギャリー講座」に1年生、9月14日に東京都立科学技術高校で行われた文化祭「四葉祭」のSSH交流発表会に2名の3年生が参加しました。それぞれの活動に参加した生徒の感想を紹介します。

プレゼンテーションはテクニック

1年10組 大畑 雄義

全身を使って楽しく表現することが英語を話す上で大切だと学びました。また、ギャリー先生の間(ま)をつくるようにして聞き手を惹きつける話し方が本当に素晴らしく、その様子を見るのはとても楽しかったです。特にプレゼンでの三つのルール、Questions、Guesses、Mistakesが大切で、途中で詰まっても「考えることは良い間」となるため、ミスをする恥じらいをなくすように意識をしてやりました。しかし、みんなの前で発表をする際は緊張でうまくできませんでした。今後は、そこをしっかりと注意してやりたいです。また、アイコンタクト、ジェスチャーが十分できていなかったと思うので、そこもしっかりとやっていきたいです。ギャリー先生は「自分の授業だから主体性を強く持って参加すべきである」とおっしゃられました。自分自身は十分でなかったとも思ったので、より前のめりになるような姿勢で受けて、Questionを増やしていき、理解を深めていきたいです。ギャリー先生が使った話し方の技法をもとに、自分独自の見せ方を考え、魅力的な話し方をできるように頑張っていきたいです。



ジェスチャーを意識して

失敗を恐れないこと

1年10組 宅間 宗史

即興での英語プレゼンテーションを経験して、今後に活かしたいと強く感じたのは、瞬時に考えをまとめる力と、伝える姿勢の大切さです。準備ができていない中で英語を話すというのは非常に緊張したけれど、その分、自分の語彙力や表現力、そして判断力が試されたと思います。特に、完璧な英語を話すことよりも、「どうすれば相手に伝わるか」を意識する姿勢が重要だと気づきました。また、焦らずに自分のペースで話すことも大切で、文法ミスを恐れず、まずは自信を持って話すことが、聞き手との信頼を築く第一歩だと感じました。この経験を通して、英語力だけでなく、プレゼン全体における柔軟性や臨機応変な対応力も養う必要があると痛感しました。今後は、日々の学習の中でも即興的に話す練習を取り入れ、予測できない場面でも落ち着いて対応できる力を身につけていきたいと思います。即興で話す力は、英語に限らず、どんなコミュニケーションの場面でも役立つと感じており、今後の成長にしっかりつながっていききたいです。また、ギャリー先生がよく言葉にされていた「Mistakes are good!」の言葉のように、ミスをしてもいいから、どんどん興味を持ったことに取り組んでいきたいと今回のギャリー講座を受けて実感しました。

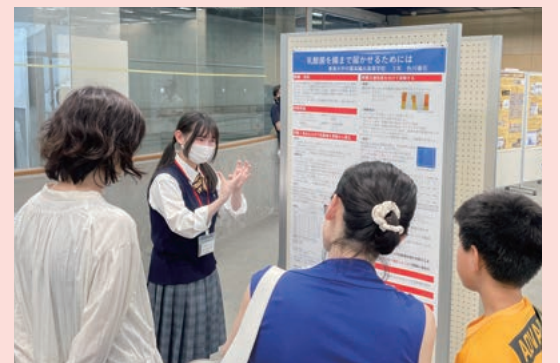


即興プレゼンテーションの様子

四葉祭に参加して

3年10組 色川 春花

先日、東京都立科学技術高校の四葉祭に参加し、SSH交流発表会で自分の課題研究をポスター形式で発表しました。普段は校内での発表が中心ですが、他校の生徒や一般来場者の前で説明することで、研究をよりわかりやすく伝える工夫の大切さを実感しました。この交流会では、その分野に詳しくない方からの質問も多く寄せられました。この交流会では気づかなかった疑問を投げかけられることで、研究を別の角度から見直す機会となり、新たな知見を得ることができました。また、他校を訪れたことで、本校にはない設備や展示の工夫を見ることができ、大変刺激になりました。さらに体験授業にも参加させてもらい、実験を行う際の基本的な心得や注意点を改めて学ぶことができました。今回の経験は、自分の研究活動を深めるとともに、発表者としての姿勢を成長させる貴重な機会となりました。

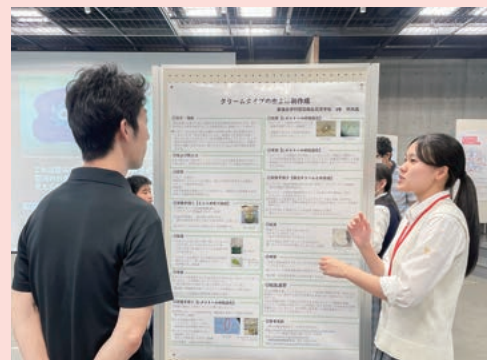


ポスター発表の様子

科技高での経験

3年10組 鈴木 颯

先日、東京都立科学技術高校の四葉祭に参加し、課題研究のポスター発表を行いました。初めての外部発表だったこともあり、普段の雰囲気と異なる一般来場者の方々や、他校の生徒、先生方に発表をすることで、研究分野に詳しくない方への説明をする難しさや伝え方の工夫の大切さを学ぶことができました。また発表を通して意見交換をする中で、自分では気づけなかった課題の発見や課題解決の方法を知ることができ、さまざまな視点から評価を受けることで今一度研究を見直し、研究を深める機会になりました。四葉祭では本校とは違った展示なども見ることができ、自身の視点を広げ研究で活かせるような知識などを吸収することもできました。体験教室では、課題研究の根本的な考え方や視点の習得に関する授業を受け、改めて課題研究そのものに対する理解を深めることができました。今回の経験をこれからの自分の研究の向上や外部発表に活かしていきたいです。



ポスター発表の様子

部・同好会活動報告

弓道部

第44回関東高等学校弓道個人選手権大会 出場

初めての大会

2年1組 上田 帆夏

大会前の練習では調子が上がらず不安もありましたが、仲間や顧問の先生の応援に支えられ、本番では前向きな気持ちで挑むことができました。当日は緊張もありましたが、楽しく引くことができました。今回は予選敗退と悔しい結果になってしまいましたが、2年生で関東大会という大舞台に立てたことを活かし、次の大会に向けて日々練習に励んでいきたいです。



関東大会を終えて

3年2組 西原 凜空

今回、9月14日に明治神宮至誠館で行われた第44回関東高等学校弓道個人選手権大会へ出場しました。残念ながら良い結果は残すことができませんでしたが、東京都個人選手権大会で4位となることで得た出場権だったので、とても良い経験になりました。練習では良くても大会では結果を出せない中、諦めず弓道を続けることで都大会では良い結果を出せたことを嬉しく思います。応援してくださった先生方や友達、支えてくださった家族にはとても感謝しています。ありがとうございました。

高校
剣道部第79回国民スポーツ大会
剣道競技会 男子5位・女子3位

高校最後の全国大会

3年3組 垣井 昭太郎

9月29日から10月1日に行われた第79回国民スポーツ大会 剣道競技会・少年男子の部で、東京都代表として出場させていただきました。結果は第5位という成績でした。自分にとって高校最後の大会で、自分らしく戦い抜くことができました。大学でも剣道を続けるので、この経験を糧に稽古へ活かしたいと思います。また、遠方から応援に来てくださった校長先生や保護者、部員やOB・OGの先輩方から多くの声援をいただきました。応援をありがとうございました。



国民スポーツ大会3位

3年7組 春山 つくし

9月29日から10月1日にかけて滋賀県で開催された国民スポーツ大会・少年女子の部に、東京都代表として出場させていただきました。結果は、第3位という成績を収めることができました。全国でも活躍するトップレベルの選手が多く出場する中で、自分の実力を発揮し、悔いのない結果を残せたのは、日頃から指導くださる先生方や、支えてくださる保護者の皆様のおかげだと思っています。今回の大会を通して、自分の課題や今後の目標を明確にすることができました。この経験を糧に、これからも日々の練習に励み、より高いレベルを目指して努力していきたいです。応援をありがとうございました。

男子
バスケット
ボール部第79回国民スポーツ大会 バスケットボール競技会
東京都代表チームキャプテンとして出場

国民スポーツ大会出場

2年3組 植垣 元為

10月3日から滋賀県で行われた、国民スポーツ大会に出場しました。結果としてはベスト16で終わってしまいましたが、たくさんのことを学ぶことができました。1つは、今年は東京都代表チームのキャプテンを務めさせていただいたこと、また東京都を代表してコートに立ち、戦えたことなど、これからの人生でも二度とないかもしれない経験を経ることができました。これからのチームでの戦いも、自分自身は東京都代表として自覚を持ち、高輪台男子バスケットボール部に良い影響を与えられるような選手になれるよう頑張ります。



背番号13番が植垣君



校外学習

研究部 知財力開発校支援事業
「みかん狩り」に3年生2名、1年生5名が参加

本校では昨年度から、独立行政法人 工業所有権情報・研修館の「知財力開発校支援事業」採択校として知的財産の保護や権利の活用についての知識や情意、態度を育む取り組みを行っています。9月23日には希望者7名が神奈川県松田町を訪れ、同町にある立花学園高等学校の生徒さんと一緒に丸増園さんで青みかんの摘果(品質の良い果実を育てるために実を選別して摘み取る作業)を行いました。収穫したみかんは松田町アロマenさんのご指導を受けながら、果皮から油分を蒸留するとともに果肉を絞ってジュースを作ったり、ポン酢に加工したりしました。

みかんポン酢づくりを体験して

3年1組 礒 静来

みかん狩りもポン酢づくりも楽しかったです。太陽が当たり過ぎて、皮が緑から黄色になってしまったみかんを収穫したのですが、どれを摘果すればいいのか見分けるのが難しかったです。

そしてポン酢づくりでは、みかんの皮を薄くピーラーで剥かなければならなかったのですが、今までやったことがなかった作業だったので面白かったです。また、作ったポン酢を食べてみたら、みかんの味がしておいしかったです。



学年だより 中1



10月11日・12日に行われた建学祭では、オリエンテーション合宿について発表しました。初めてのパワーポイントでの作業や来場者への発表に緊張した様子が見られました。



発表のテーマ

オリエンテーション合宿の行程表について

三保の松原について

日本平夢テラスについて

登呂遺跡について

久能山東照宮について

ビーチコーミングについて

東海大学海洋学部の紹介

駿府の工房 匠宿 竹細工について

茶摘み体験と静岡茶について

鉄舟寺について



建学祭を終えて

A組 廣居 仁菜

私は、この学校に入学して初めての建学祭を経験しました。昨年、アリーナで行われたダンス部の公演を見て、この学校に入って先輩方のようになりたいと思いました。やっと先日その憧れだった場所に立つことができました。当日は思っていた以上に見に来てくれたお客さんが多く、とても緊張しました。しかし実際に踊ってみると楽しくて、アリーナの前に立たないとわからない観客の笑顔を見ることができて、とても幸せでした。これから、たくさんの人を笑顔にできるようなダンスを踊れるように頑張ります。

初めての建学祭

A組 市川 拓渡

今回の建学祭で、1年生はオリエンテーション合宿について発表しました。発表する時は声を大きく出すように意識しました。また、一日目で下を向いていたことが多かったと感じたので、二日目では、できるだけ正面を見て発表しました。高校生の展示を回っていると、金継ぎの体験ができた、ミサンガを作ったりしました。自分たちが思いつかないような体験をすることができて、高校生たちのすごさを感じることができました。今年の経験を活かして、来年の建学祭も頑張りたいです。

おもてなしの素晴らしさ

B組 館 一絆也

私は今回の建学祭でいろいろなことを学びました。そこで私が驚いたことは、「おもてなし」の場面が多く、とても優しい対応で説明してくれて、心がほっとする場所でした。高校生は、たくさんの装飾や出し物が準備されていました。私たち1年生はタブレットのみでの発表でしたが、学年が上がるにつれてもっと面白くなり、高学年はすごいと改めて思いました。私も来年の建学祭では、もっとお客さんに対しておもてなしをし、面白いと思ってもらえるような楽しい出し物をしたいです。さらに学年の子とも絆を深めていきたいです。

建学祭で学んだこと

B組 八木 春樹

私が初めての建学祭で学んだことは、二つあります。一つ目は、学年みんなで何かをする事の難しさです。学年で一つのことをするのは、それぞれの意見が違ったり、勝手に行動してしまったりして、気持ちを一つに行動することの難しさがわかりました。二つ目は、他の学年との差があったことです。1年生は個人で行動することが多くてまとまりがなく、だらしない見え方でした。しかし他の学年は、装飾や出し物をまとめて作っていてすごいと思いました。これらを踏まえて私は来年、みんなをまとめていくリーダーシップを発揮したいと思いました。

学年だより 中2



10月11日・12日に行われた建学祭では、「塩」をテーマに発表を行いました。身近な存在の「塩」を使った実験や体験を通して成果を発表しました。



発表のテーマ

塩の歴史・起源や誕生について	塩が水に溶ける限界量は？(飽和)	塩の結晶を作ろう 正六面体
塩が使われる文化的な場面とその意味	モールで塩の結晶を作ろう	塩の結晶を作ろう トレミー状
日本国内の塩の消費量・輸入量と輸出量	塩を使ったライフハック	塩の結晶を作ろう 柱状
塩が使われているもの(食品)	減塩について	塩の結晶を作ろう 樹枝状
塩が使われているもの(生活用品)	動物と塩の関わりについて	塩の結晶を作ろう 球状
人間にとって塩とはどのような存在か	日本全国の塩の産地	食塩で彫刻を作ろう
塩の特性～防腐作用について考える～	諸外国の塩の産地	塩を正確に量ろう
塩の特性～氷点降下について考える～	日本全国の塩の作られ方	顕微鏡で塩の結晶を観察しよう
塩の特性～塩析について考える～	諸外国の塩の作られ方	



思いやりの大切さ

A組 宿理 聡珂

私は、建学祭を通して思いやりの大切さを学びました。建学祭の準備期間中、発表で使うパワーポイントを準備しました。パワーポイントで文章を作る時も、自分たちだけでわかる言葉を使うのではなく、来てくれるお客さんでもわかりやすい言葉を選んで文章を作りました。また、ペアが作ったところに手を加える時は、強い口調で言うのではなく、優しく接して相手が言われた時にどう感じるかを考えながら伝えました。そして私が部活動でいない時は、ペアが一人で準備してくれました。建学祭当日は、来てくれたお父さんとお母さんから、「しっかり作られたパワーポイントで、とてもわかりやすく良かった」と言ってもらえて嬉しかったです。建学祭を通して、思いやりを持つことの大切さを学びました。これからの学校生活や私生活でも、思いやりを持って過ごしていきたいです。

二度目の建学祭を経て

B組 鈴木 理桜士

私は、二度目の建学祭で自身の成長を実感する場面がいくつかありました。一つ目は積極性が増したことです。以前は、自分のシフトが終わったらすぐに遊びに行っていました。今年度は友達がシフトの間は入り口前や廊下でお客さんを呼び込み、教室は盛況となりました。二つ目は、周囲の状況をよく観察することです。教室が汚れてきた時には掃除をしたり、人手が必要な飾り付けを進んで行ったり、他のグループのパワーポイントを添削したりと学年に貢献できたと思います。自分が苦手なことは周りを頼り、自分にできることを率先して行うことで、みんなの力になることができました。しかし、呼び込みなど積極的に行ったもののあまり良い成果を出せなかったため、今年度の反省を活かして、来年度はより積極的に情熱を持って建学祭に臨みたいと思いました。

学年だより 中3

～卒業まであと半年～

中部部生活も残すところあと半分となりました。卒業までの生活を悔いのないよう過ごし、高校生活に向けて充実したものにしてほしいと思います。前期を振り返っての感想や高校に向けての意気込み、残りの半年をどう過ごしたいか、生徒たちそれぞれの思いを紹介します。

A組 清水 響

前期を振り返っての反省は、前期期末試験です。かなり勉強したにも関わらず、本番では緊張してしまい、全く解けないところやケアレスミスが目立ちました。特に数学では、完璧な対策を取っていたのに、芳しくない結果となってしまいました。振り返ってみると、まずは基本の勉強を怠っていたこと、しっかり覚えていなかったこと、本番に弱かったことです。次回は基本を怠らず、応用も完璧にこなして試験当日でも落ち着いて臨みたい。他教科も同様に、見直しや解き直しを忘れないようにします。

A組 高杉 魁

前期は今まで通り何も問題が起こることなく、平穩無事に過ごすことができました。4月は初めて同じクラスになった生徒がいて、仲良くなれるか不安でしたが、自分が思っていたよりも早く新しい友達がたくさんできました。そう考えると、昨年度よりもコミュニケーション能力が上がったと実感しています。高校でもこの調子で積極的にたくさん友達を作っていきたいです。また、勉強面でもしっかりついていけるよう頑張りたいです。

A組 寺田 梨沙

私たち中部部ダンス部は、前期に行われた全国大会で1位を取ることができたのですが、その練習のため、家でも夜まで練習したりしました。その影響でいつもの睡眠時間が取れず、授業中に少し眠くなってしまう、集中できない時があったのが反省点です。高校生になると部活動も今よりもっとハードになり、帰宅時間が遅くなってしまうことが増えると思うので、残りの生活は、何事にもメリハリをつけて、部活動と学校生活を両立できるように頑張りたいです。

A組 中込 太吾

前期を振り返ると、もっと計画的に勉強すれば良かったと反省しています。提出物の期限を守ることや、テスト前の準備が遅れてしまったことが何度ありました。しかし昨年度よりも、授業中に積極的に発言したり、友達と協力して課題に取り組んだりすることができるようになりました。高校では、もっと自分の得意分野を伸ばし、苦手なことにも挑戦していきたいです。残りの半年は、毎日の授業を大切にしながら、悔いのないよう過ごしたいです。そして、高校生活でも勉強についていけるよう努力していきたいです。

B組 柴田 琉斗

中部部生活も残り半年となり、前期を振り返ってみると、学習面では計画的な勉強を心がけたおかげで、昨年度よりも提出物やテストに対する意識が高くなりました。また、英語のリスニング力や数学の計算能力も上がり、成長を感じました。しかし、同時に課題も多くあり、特に、時間管理や集中力の欠如で、これらを改善しなければと思っています。高校進学に向けては、目標を作り、計画的な勉強と積極的な学校生活を送りたいです。残りの半年は、授業だけではなく学校行事にも積極的に参加し、充実した中部部生活を送りたいです。

B組 田中 駿太郎

中部部生活も残り半年となり、前期を振り返ると、学習面では計画性の甘さから課題提出が遅れがちになってしまったことが反省点です。しかし昨年度や前期中間よりも英語の学習意欲が増え、英会話が少し楽しくなり、テストの点数が上がったところは成長した点だと感じています。高校では新しい環境の中でさらに英語の点数を上げ、積極的に資格取得にも挑戦していきたいです。残りの半年間は、仲間と協力しながら中部部最後の行事を大切に、一日一日を充実させて過ごしたいと思っています。

B組 原口 莉奈

前期の反省点は勉強面です。3年になって慣れもあり、1、2年の時と比べると、テスト前の学習時間が減り、直前に急いで勉強し、曖昧な記憶でテストに挑むこともありました。後期では、このようなことがないように事前に学習計画を立て、直前に勉強することがないようにしたいです。高校では、多くの人が入ってくるので、自分から積極的に話しかけ、たくさんの友達を作りたいです。また勉強面では、教科数も増えるので、より一層の努力をしたいと思います。

B組 三輪田 翔真

夏休みに部活動で大きな大会があり、部員一同全力を尽くして臨んだが、残念ながら上位大会に進むことができなかった。目標としていた結果には届かなかったが、この経験を活かし、後期に控えている定期演奏会に向けて頑張っていきたい。この演奏会は、私たち3年にとって引退を迎える一大イベントであり、お客様に日頃の練習の成果を披露する絶好の機会である。部員全員が心を一つにして、最高の演奏ができるよう、今以上に練習に励み、素晴らしい音楽をお届けできるよう、全員で力を合わせて取り組みたい。



食堂にて



在りし日の授業風景



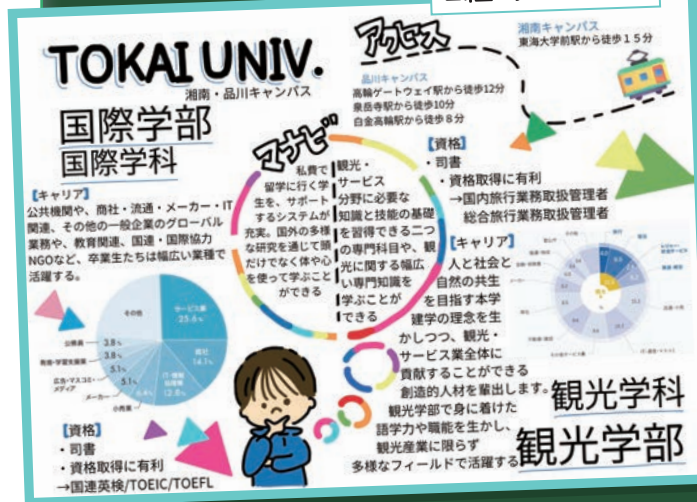
学年だより 高1

Point

文理選択・東海大学学部学科調べ

9月29日(月)の学年集会にて、高校2年次の文理選択の説明を受けました。また、夏休みには、東海大学のホームページやパンフレットを参考に東海大学の学部学科調べをし、進路について考えました。一人ひとりが自分の将来について考える良い機会となりました。

2組 児成 優真

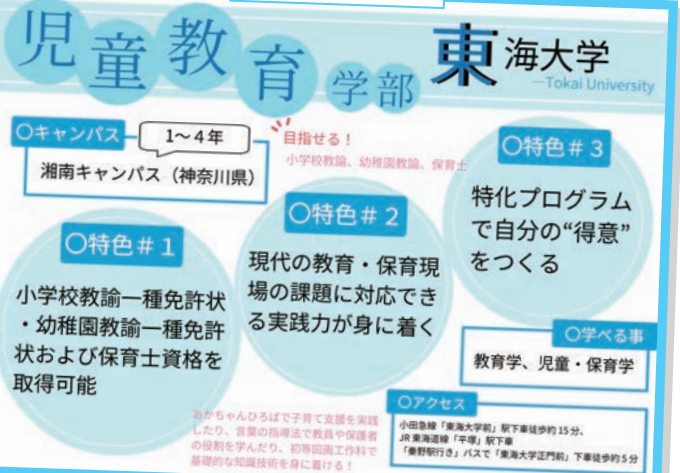


体育学部へのスタートライン

3組 城 惺太

私は今回の文理選択の学年集会を聞き、今までは想像すらできなかった自分の将来像を明確にイメージすることができました。私は体育学部の魅力を感じています。体育学部は文系の要素も理系の要素もある学部なので、両立して勉強したいです。スポーツや健康、体づくりに興味があるので、現在所属しているアメフト部の活動を通して学んでいきたいです。今回の経験をきっかけに、自分の将来についてしっかりと見つめていきたいです。

7組 永富 舞



Check

文理選択

5組 松戸 結希

学年集会で文理選択についての話を聞き、文系を選ぶか理系を選ぶかによって今後の進路が大きく変わってしまうと感じたので、よく考えて悔いのない選択をしたいと思いました。私は、まだ行きたい学部や将来の夢が決まっていますが、理系に進めば多くの学部に進学できると知り、今の自分には理系を選んだ方が選択肢を広げられると思いました。今は目標がはっきりしていませんが、理系ならいろいろな可能性が広がると思うので、これから目標を探しつつ、もっと勉強して希望の進路を叶えたいです。

10組 長谷川 彩里



将来への前進

8組 島村 優衣

学年集会で文理選択についての説明を聞き、今までよりも文理選択が身近に感じられました。私は入学した当初、理系クラスで生物を選択しようと思っていました。しかし、将来的な進路が明確に決まっていなかったため、選択の幅を広げるためにも改めて文理選択に真剣に向き合い、家族ともよく相談して決定すべきだと思いました。これから気になる学部についてもたくさん調べて、将来のことを考えていこうと思います。自分の進路選択を後悔のないものにしたいです。



学年だより 高2



オープンキャンパス「付属DAY」に参加

高校2学年は9月13日(土)に湘南キャンパスで行われた「付属DAY」に参加してきました！
各学部の見学を行った生徒の感想をご紹介します。

観光学部観光学科

観光学科の説明では、どのような人材を育てようとしているのか、どのような仕事につながるかを学ぶことができました。また、実際に英語で外国人観光客を案内するプロジェクトなど実践的なことを多くできると知りました。英語を使って外国人観光客を案内するのはとても難しいことなので、自分が観光学科に入った場合、挑戦できるか少し不安を感じましたが、案内することで自分もその観光地の良さを再発見できると思うので、すてきなプロジェクトだと感じました。(Aさん)

経営学部経営学科

普段どのような授業が行われているのかを知ることができました。その中で、村おこしをしたり、加工技術でどうやって日本の課題を解決するかということの説明していただきました。私は、この説明を聞く前は、もっと堅苦しいものだと思っていましたが、とても楽しそうだと感じました。また、商品企画のプロセスでは、どのようなテーマでどのように手順を進めるのかを知ることができました。(Y君)

健康学部 健康マネジメント学科

まず、幅広い知識が得られることに魅力を感じました。複数分野(運動、生理学、社会福祉、心理学など)を横断して学べるので、「健康」というテーマを多面的に捉えられるのではないかと考えました。また、実践・体験型の授業がとても印象的でした。実技指導、フィールドワーク、実験実習など、教室の中だけでなく体を動かしたり実際の場で学べる内容が多いことが良いと思いました。自分の興味・適性を試す場としても良いのではないかと考えることができました。(E君)

文化社会学部広報メディア学科

今の時代は、「広く報じること」の意義や重要性が注目されています。メディアは、あらゆる面で人と社会をつなげるため、どの情報を、どのような形で、どのメディアで伝えれば相手に価値ある情報を届けられるのかということを学びました。(I君)

海洋学部海洋生物学科

海洋生物学科は、海洋生物に特化している学科で、自分の興味がある分野について深く学ぶことができることがわかりました。私の好きな海棲哺乳類を対象とした研究や調査を行っている先生がいっぱいいることもわかりました。また、ダイビングをやっている学生さんがたくさんいることもわかりました。また、海洋生物学科は東海大学の中でもとても人気がある学科なので、進学が決まっても、気を抜かないで勉強を続けなければ周りとはすぐ差がついてしまうこともわかりました。(Kさん)



みんなでお昼ご飯



健康学部の説明会に参加してきました



説明会前に



学年だより 高3



最後のスポーツ大会

9月16日(火)に本校アリーナでスポーツ大会が行われました。この学年で最後のスポーツ大会だったこともあり、どのクラスも笑顔と声援で大盛り上がりでした。最後は級長会が中心となって作った学級旗と一緒に学年全員で記念写真を撮りました。

各競技結果

総合順位

1位 3組 2位 2組&5組 4位 8組

男子
バスケット
ボール

1位 4組

2位 8組 3位 3組 4位 6組

女子
バスケット
ボール

1位 4組

2位 5組 3位 2組 4位 3組

男子
ドッジ
ボール

1位 3組

2位 9組 3位 2組 4位 8組

女子
ドッジ
ボール

1位 7組

2位 8組 3位 2組 4位 5組

男子
バレー
ボール

1位 3組

2位 5組 3位 4組 4位 9組

綱引き

1位 2組

2位 5組 3位 3組 4位 8組



お知らせ

ベストティーチャー・タイプA候補決まる

5月12日、7月19日に「生徒による授業評価アンケート」を実施しました。その結果、今年度のベストティーチャー・タイプA候補として9名の先生方が決まりました。保護者の皆様には、11月10日(月)の「一斉公開授業」の際に延べ9名の先生方の授業をご覧ください、「保護者による授業評価アンケート」への回答をお願いします。

【2025年度ベストティーチャー・タイプA候補一覧(教科順)】

	教員名	教科
中等部	福武 昂重	社会
	鎌田雄太郎	理科
	古田 奈穂	技術・家庭
高等学校	数馬 大介	国語
	傳農 翔	国語
	江波戸優真	地理歴史・公民
	石堂 孝明	数学
	鎌田雄太郎	理科
	眞崎 拓帆	理科

※付記
以下の過去3年間にベストティーチャー・タイプAを受賞した者は、規定により選考の対象から外れています。

2022年度：山田 武範
2023年度：石川 仁
2024年度：小松原 洋行・新井 達也・八巻 嶺

※授業実施時間割は、学級担任または学校までお問い合わせください。
なお、「一斉公開授業」の時間割は、前々日にClassiiにて配信いたします。

中・高ダンス部「定期公演2025」(入場無料)

日時：2025年11月13日(木) Open 18:15／Start 18:45
会場：大田区民ホール・アプリコ：大ホール



行事予定

※予定が変更になる場合があります。

November 11月

December 12月

- 1日(土) 東海大学建学83周年記念日(中2・3、高校 自宅学習日)
GTEC Junior受検日(中1)
- 2日(日) 学校説明見学会④(中等部)
- 3日(月) 文化の日 学校説明見学会④(高校)
- 4日(火) 高輪台高校創立81周年記念式典 剛健旅行閉会式
朝礼・短縮授業 1限目カット 月曜の授業日
- 6日(木) 外部実力試験(中等部)
学園高大連携総合試験・基礎力判定テスト①(高校)
- 7日(金) 作文コンテスト(中等部)
付属推薦小論文試験・小論文コンテスト(高校)
木曜の授業日 漢字検定②
- 10日(月) 一斉公開授業② 高1HR茶道(10組)
- 11日(火) 体育祭予行演習(中等部) 校医相談日⑦
- 12日(水) 中等部体育祭(雨天時延期)
- 13日(木) ダンス部定期公演(大田区民ホール・アプリコ：大ホール)
- 17日(月) 生徒による授業評価アンケート③
- 22日(土) 保護者会(中3)
- 23日(日) 勤労感謝の日
- 24日(月) 振替休日
- 25日(火) 後期中間試験(中等部：～26日、高校：～28日)
- 27日(木) スポーツ大会(AM)・キャリア教育(PM)(中等部)
- 28日(金) 校外活動(中等部)
- 29日(土) 3時間授業 東海カルチャーセミナー(13:00～)
特別講座開始(高3) 後援会委員総会③(15:30～)
- 30日(日) 学校説明見学会⑤(高校)

- 1日(月) 朝礼・短縮授業
付属推薦合格発表(高3)
- 5日(金) 後期中間試験答案返却(3限～)
- 6日(土) GTEC受検日②(高校)
付属推薦入学試験合格者説明会(高3)
- 7日(日) 学校説明見学会⑤(中等部)
- 9日(火) 校医相談日⑧
- 10日(水) 専門医によるカウンセリング⑥
- 15日(月) 高校入試相談(生徒自宅学習日)
- 16日(火) 高校入試相談(生徒自宅学習日)
- 19日(金) 付属高校生のためのヨーロッパ研修旅行(希望者：～28日)
- 20日(土) 生徒自宅学習日
- 24日(水) 冬期休暇(～1月5日)前諸注意・大掃除(3・4限目)
- 25日(木) 冬期講習(～27日)

編集後記

“季節外れ”という言葉自体には肯定的なニュアンスも否定的なそれもないように思うのですが、次の季節を先取りする場合には前者、前の季節を引きずっている場合は後者と評価されるような気がします。先月上旬、剛健旅行の下見で現地を訪れた際に「ツクツクホーシ」という鳴き声を耳にしたときは、秋口になっても懸命に生きようとするセミに対する驚嘆というよりは地球温暖化の進行に対する恐怖を感じたものです。それでも、あれから半月たらずですっかり冷え込んできました。地球は46億年前と同じペースで回転し続けているようですね。(の)